

快適なくらし
木の家の
魅力を
チェック。

建築士の マイホーム



段差が生む、暮らしのリズム

高知市の静かな住宅地に佇む、築8年半の木の家。設計者はこの家のご主人でもある建築士・細木淳さんです。スキップフロア構造を採用したユニークな空間は、駐車場のある地階から寝室、浴室、リビング、趣味室へと、段差を活かして緩やかに繋がっています。「どこを“1階”と呼ぶかは難しいですね」と笑います。建築基準法上は2階建てですが、実際には1.5階、2.5階といった中間層が連続し、家全体に豊かな奥行きと広がりをもたらしています。

土佐の素材と、時を刻む暮らし

コンセプトは、『自然素材に囲まれた、気持ちのいい暮らし』。木材、土佐漆喰、土佐和紙など、すべての素材選びにおいて、使用する場所や用途に応じた細やかな配慮がなされています。

特にこだわったのは木材。床にはヒノキ、天井にはスギの県産材をふんだんに使うことで、木のぬくもりに包まれた住まいが実現しました。「木って、触れると気持ちがいいんです。寝転がっても心地よくて、素足で歩くとその違いがよくわかる」と、淳さんは語ります。「階段のかじり跡や床の傷は、愛犬ロクとの暮らしの証。家族みんなの歴史があちこちに刻まれています」と話す奥様。元気に走り回るロクの姿が、木の床の心地よさを物語っています。

年月とともに、木は紫外線を浴びて色味を深めています。「その変化も、思い出として刻まれていくんです」と、淳さんは目を細めます。

木の家をもたらす、心地よさ

取材当日は10月にもかかわらず気温は30度超え。軒の設計は夏の強い日差しを遮るよう計算されていますが、想定外の暑さに自然の力を改めて感じたといいます。「木は呼吸しています。だからこそ、自然の変化に寄り添う設計が必要です」と淳さんは話します。

木に囲まれた暮らしは、五感を満たし、日々の営みに豊かさをもたらします。ロクが走り回る足音、木の床に寝転ぶ心地よさ、反射するやわらかな光。そのすべてが、この家の“記憶”として積み重なっていきます。8年半という時間が育んだ、家族と木と空間の物語が、ここには確かに息づいています。



軒の設計が夏の日差しを遮る。自然と共に生きる知恵。



「私にはほとんど相談なし」と笑う奥様に「設計図は見せたよ」と淳さん。なにはともあれ、お2人の表情を見れば居心地のいい家が完成したことは一目瞭然。



愛犬ロクも安心する木の空間。



暮らしに遊び心を。趣味部屋の木の棚にはCDと書籍がずらり。



リビングの土佐漆喰の壁には間接照明がよく映える。



障子には土佐和紙。光をやわらかく包む。



少し粗めの質感。2.5階部分の土佐漆喰の壁が奥様のお気に入り。



Instagram QR

YouTube QR

この日の取材の様子はこちらから
もりりんチャンネル



高知県からのお知らせ

全国一の森林率84%を誇る高知県。その恵まれた自然から生まれた、温かみのある「こちの木」で、あなたの理想の住まいを建ててみませんか。「こちの木の住まいづくり助成事業」では、県産材を使用した家づくりを応援しています。助成事業が皆さまに活用されることで地域経済の活性化や健全な森林の維持管理に繋がります。

【補助の対象となる住宅】

- 高知県内に建築する住宅又は県内に存在する既存住宅であること
- 延べ面積の過半の用途が住宅であること
- 住宅の取得前又はリフォームの工事完了前に申込書受理通知書の交付を受けること

<新築・増築の場合>

- 県内産乾燥木材を工事に係る部分の基本部位に材積の80%以上使用すること
- 瑕疵担保責任保険加入住宅又は申請者が自ら施工する住宅であること

<リフォームの場合>

- 工事に係る部分に県内産乾燥木材を使用すること

<内装木質化の場合>

- 工事に係る部分に県内産乾燥木材を使用すること

【補助の対象者(個人に限る)】

- 自ら居住するために住宅を取得する方又は自らが居住する住宅のリフォームを行う方(賃貸を目的とするものは除く)
- 県税の滞納がない方

【申込み・申請手続き】

助成事業の提出書類には設計や施工に関するものが多く必要のため、建築士事務所へ手続きを委任するのが一般的な方法です。家を建てることが決まったら、建築士事務所へ一度ご相談してみてください。申込み金額が予算に達した場合は、申込みの受付を終了します。助成事業の詳細については高知県庁HPでご覧いただけます。

[こちの木の住まい](#) [検索](#)



【補助メニュー】Check!!

いずれかのタイプを利用できます。

<積上補助タイプ>

上限額を80万円から100万円へ引き上げました!

- 新築、増築、リフォーム、内装木質化のすべてにおいて利用できます。
- 県内産乾燥木材の使用量に応じて補助金額がUPします。(上限額100万円)
- 国等の他の助成事業と併用する場合は、補助対象経費を分ける必要があります。

<定額補助タイプ>

令和7年度から創設した新規メニューです!

- 補助対象経費が重複する国の補助事業を利用し、新築又は増築する場合に限り、補助金額10万円を交付します。(国補助事業の例:子育てグリーン住宅支援事業)